テーマ　　**「地域の一員としての看護専門学校」**

カテゴリー：④連携（地域）

学校概要
学校名：京都中部総合医療センター看護専門
所在地：京都府南丹市八木町南広瀬上野３番地１
課程名：３年課程
１学年定員数：40 名
就業年限：３年

学校理念

幅広い看護実践ができる専門的知識・技術で
人々の健康のために貢献できる人材を育成

地域のためにできること

当校は京都府南丹医療圏の地域の住民の生命健康を守る最終拠点病院を設置母体とする看護専門学校である。地域の一員として地域の方々との交流だけに留まらず、もっと積極的にできることを模索し続けている。

地域の人材は地域で

当校ではありがたい事に入学時から卒業まで行われる看護実習のほとんどを、『地域の人材は地域で育てる』という理解のもと地域の施設でお世話になっており、小児看護学実習では複数の保育園、幼稚園、こども園で実習をさせていただいている。施設を訪問した際に、『子どもの救急蘇生法研修』を保育園児の昼寝時間に合わせて、園のスタッフ全員が受講できるように複数回研修会を開催してくれるようなシステムがあれば・・との悩みを聞いた。

専門性を発揮した教員の校外活動

看護専門学校にあるシミュレーターを活用し、教員が保育園に出向き講師となり保育園・幼稚園スタッフを対象に子どもの救急蘇生法研修の開催を試みて２年目となる。





今後の課題

私たち看護専門学校の特性を地域のために発揮がしたい！このような活動を続ける事で、学校が地域に根を張って地域との互助が成立し地域力を高めることができる。今後も新たな看護学校、教員の活動を模索して行きたい。